

第6回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨(案)

開催日時：平成24年11月22日(木) 10:00~12:00

開催会場：常陸河川国道事務所 2階 会議室 F・G

<議事等>

- 1.これまでの事故ゼロプランの取組みについて
- 2.本委員会の審議内容について
- 3.事故ゼロプランの効果的な推進のためのルールについて
- 4.事故危険区間の対策内容について
- 5.地域連携による交通安全対策の取組みについて
- 6.主要渋滞箇所の進捗状況について



(委員会の様子)

<主な意見>

1. これまでの事故ゼロプランの取組みについて

- H17 交通安全要対策箇所について個別箇所のカルテなどを作成し、事故が減少している箇所でも増加に転じないか、フォローアップしていくべき。次回の委員会にて箇所別の状況を示していただきたい。

→次回以降の委員会で箇所別のフォローアップ結果について示していきたい。

2. 本委員会の審議内容について

- 特になし

3. 事故ゼロプランの効果的な推進のためのルールについて

- 新たな事故危険区間のうち、現在選定されている代表区間 61 区間に相当する箇所はどのように選定されるのか。

→今後、事故データ以外の箇所も含めて、課題が大きな箇所や、特に地域からの声が多い箇所について選定していく予定である。

- 自転車の通行ルールに対する社会の関心が高まっており、自転車と車両が関与する事故の推移について、どのような変化が起きているのか確認する必要がある。その結果次第では、自転車に関する指標を見直すことも考えられる。

→自転車が関連する事故の発生状況について確認していく。

- 新たな地域要望による追加について、各機関へのアンケート票の配布数が 30 部程度となっているが各機関の対象実施数を考慮し配布数を決定すべきではないか。バス協会ではバスのドライバー約 1,200 人に対してアンケートを実施したいと考えている。

→配布数については、各機関に個別に相談させてほしい。

- 一般の方の意見を収集する仕組みとして、事務所のホームページや Web モニターアンケートなどを有効活用していくことが重要となり、より多くの意見が収集できるのではないか。

→今後、一般の方の意見を収集する仕組みについて検討していきたい。

4. 事故危険区間の対策内容について

- 昨年度現地地点検を行った、学園東大通り入口交差点の対策はいつ行われるのか。
→来年度対策実施予定であり、現在関係機関と調整中である。
- 車道を走行する自転車が安全に通行できるよう、対策を実施してほしい。
→事故が起こってから対策を行うのでは手遅れとなるため、予防対策を含めて検討していきたい。
- 乗合バス等に搭載しているドライブレコーダーのデータを活用し、ヒヤリハットが多発する箇所などについて、予防対策を実施する方法もあるのではないかと。
→データを使用させていただくことが可能であれば、対策検討上有用であるため、今後調整させていただきたい。

5. 地域連携による交通安全対策の取組みについて

- 地域連携による交通安全対策の取組みとして、地域住民を交えて議論を行うような仕組みを今後作ってはどうか。
→検討していきたい。
- 乗合バスのドライバーとの意見交換会を実施するなどして、生の声を収集する方法も考えられるのではないかと。
→今後調整させていただき、事故対策につなげていきたい。

6. 主要渋滞箇所の進捗状況について

- パブリックコメントの回答者は、渋滞の定義を理解した上で回答しているのか。
→過去の委員会資料を閲覧できるよう案内を行っているため、それを見ていただいた方は理解されていると考えている。
- パブリックコメントの周知にあたっては、ソーシャルネットワーキングサービスを利用するなど、新しいツールを活用することで、コストを掛けずに広報活動が可能であり、これまでとは違うネットワークの広がりが期待できると考えられる。

7. 今後のスケジュールについて

- 次回は、12月20日に移動性を中心とした委員会の開催を予定している。その後、来年2月に移動性と安全性を併せた委員会の開催、3月に合同現地診断を行う予定である。

以 上